

一般社団法人 埼玉私保連



# 広報

No.129

H28. 10月

発行



「楽しいね!  
おともだちとのおしゃべり!!」

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

### 埼玉私保連研修会

## 「公定価格・処遇改善等喫緊の課題」を学ぶ

日時／2016年6月21日（火） 13：30～  
 会場／さいたま市文化センター 多目的室  
 講師／村山祐一氏（保育研究所所長・元帝京大学教授）



3. 幼稚園の公定価格は大幅な改善がなされているが、保育園の公定価格は従来のままであり、各年齢別基本単価は2000年から変わっていない。

4. 幼稚園は完全週休2日

当日の村山祐一先生のお話では以下の4つの大きな課題が出されました。

1. マスコミが「保育園の現状」を毎日のように報道し保育園への注目が劇的に変化しているなか、保育団体の動きが鈍い事が心配される。
2. 国、県、市町村では、新制度施行後、担当者の人事などで、行政や現場は大混乱している。保育現場の私たちがしっかりと課題などを把握し、問題提起していかないと、児童福祉法第3条「原理の尊重」がないがしろにされかねない。



その後行われた地区懇談会では、新制度での市町村の対応に違いがあることや、市単独補助が削減されるなどの状態が報告され又職員の確保が非常に難しくなっている現状なども報告されました。

連盟としては、村山先生から出された課題や問題点を整理するとともに、地区懇談会で出された市町村への働きかけの必要性を改めて確認し、県への要望活動や会員各位への情報提供にと積極的に活かしていきたいと考えております。尚、この研修会で配布しました研修会資料は現行制度の課題や今後の対応を知る上で非常に参考になるかと思えますのでご活用ください。  
 （予対部）

制、保育の準備時間や研修時間、長期休暇が保障されているが、公定価格（保育単価）を検討した結果、保育園にはそれらの保障は無しの状態のままである事。

## 平成28年度 地区懇談会

6月21日（火）さいたま市文化センター 多目的室

初の試みとして、例年4地区それぞれに行っていた形式を先の研修会後、同一会場で行う形式に変え開催した。研修で研鑽を積んだ後、それを受けての懇談会は多くの方の参加で活発な議論がなされた。（以下各地区の報告を抜粋して掲載）

### 【東部地区・北部地区】

出席 東部地区 9名 北部地区 5名

出席園から研修内容の感想、施設での新制度後の取り組みや課題について報告を頂き、解決にむけて連盟が関係機関に要請していく事柄について以下のような話し合いが行われた。

- ・ 職員の処遇改善にむけた取り組みを強化すべき件。
- ・ 標準時間・短時間保育の定義にばらつきがみられる点。
- ・ 職員の確保が困難になってきている状況から、市町村独自の支援策等の取り組みが課題であること。
- ・ 保育指針の改定の動向に注視（3歳児以上の児童票作成が新たに入ることの是非が検討部会で議論されている）。

- ・ 新制度の施行により、市単独の補助金の削減・廃止が発生している件。
  - ・ 加算の事務手続きが煩雑で、行政側にも混乱がみられること。
  - ・ 連盟のHPに掲載の公定価格に関する情報が大変参考になったとの意見。
- 等の現状や課題が浮き彫りになった。





【西部地区】 出席 16名

県への要望について、各園の置かれていた状況等を話し合った。

・所沢市

1歳児加算やアレルギー食加算等なくならないよう県へ要望していききたい。市単補助として職員の賞与加算（夏期2万円・冬期4万円）が今年度より全額カットされた。昨年同様に在園制度の見直しも含めて、今後市に要望していく。

・ふじみ野市

市単補助金が一切なく県のみの補助金となっている。1歳児加算は大切にしていきたい。財政難から公立保育園を民間委託している。保育士不足の問題と同時に保育の質も問われている。今年度カットされた処遇改善費の復活を市に要望している。給料はベースアップしたが財源の保障はあるのか？委託費に含まれている



このことだが実際は少なく

・川越市

市単補助のアレルギー食加算は月30食以上の枠を無く

し一人でも加算対象となるよう要望している。障害児保育補助金は園の負担が多にならぬ額を設定してほしい。

アンケートを実施し他市の状況を参考に市単補助金を検討している様子。また保育課職員の大幅な異動により多々問題が生じている。

・富士見市

公私連携型保育所を設置。今年度より補助金が毎月支給となった。企業が参入しているのが現状。今年市長選があるため、処遇改善等保育に関する事柄を候補者全員に公開質問状を送る事になっている。1歳児の配置基準について6：1で保育してほしいと言われた。

・東松山市

公立保育園は5園あったが現在3園。処遇改善費は一人（年）2万円支給されている。また、来年度開園予定の新設園は補助金がなく、自己資金のみ。来年度当園の建替えを予定しているが補助金に対する心配がある。

・小川町

補助金支給が3月末日の為、園の運営が大変な状況。今年度に入り保育課職員の異動があり、今までの話しの内容が見送りになってしまった。

【南部地区】 出席 20名

前半の村山祐一先生の講義を受けて、懇談では各園・各自治体において、具体的に抱えている問題の事例報告や情報交換がなされた。講義の中で、公定価格の算出から保育所は土曜開所・研修・長期休暇などの保障がないという課題の明示があったことから土曜保育の状況、ほか主に以下のような内容であった。

・新制度施行に併せて11時間の土曜開所を余儀なくされ、土曜出勤の平日代休・平日の勤務時間の調整、年間の変形労働制での対応など難儀している。人材不足・職員の処遇低下に拍車をかけている。

職員を研修に出すのも厳しい。研修をしても離職してしまう。保育実践が伝承されないし、人が足りない、継続勤務している職員の負担は大きくなる、という悪循環となっている。

公立が土曜の11時間開所をやっていない市もあり、その影響で民間園の土曜保育利用が増えていく。また自治体・園により土曜の開所時間や利用者数にばらつきがある。土曜の恒常的な閉所で減額されるのではなく、開所時間・利用数に応じ運営費が支弁されるべきではないか。

市（公立）延長料の保護者負担が無い自治体がある。



・保育士確保が大変厳しい。近隣である都内との賃金格差の影響が大きい。

・都内や公立との競争で賃上げの努力はしているが限界がある。また派遣を頼らざるを得ない状況があるが派遣費用を公費でそんに出してよいものか疑問である。

・園長会など園長がまとまって、民間だけではなく公立も一緒に自治体へ要望していくことが重要。

・病後児、子育て支援、休日など様々な事業をやるほど、保育士に加え看護師の確保もより厳しく、事業実施の困難さが増している。市内で唯一休日保育を20年やってきたが、人材不足などによりやめたという報告もあった。

懇談の最後に同席頂いていた村山祐一先生から、県要望については是非、記者会見を行うとよいとの助言があり検討することとなった。

## 施設訪問ごんじちは

訪問先(さいたま市)

## きらり保育園

園長 笠原 栄希先生



玄関を入ると、数人の女の子が靴箱用ほうきと塵取りを持ち、靴箱を掃除しています。「先生のところも掃除しよう」と、とても楽しそうです。「こんなに取れたよ」と、塵取りを片手に園長先生に報告をしていました。

## 創めは、一人から…

「働きたいのに保育園に入れない」という近所のお母さんの声を耳にされた理事長先生が、平成一六年二月、短大を卒業したばかりの娘さんと二人、ご自宅の一部を改装し、一念発起、「チャイルドルームつばさ」を創め、この親子さんが利用者の第一号となりました。

平成一七年五月、さいたま市より家庭保育室の認定を受け「つばさ保育園」へ改名。平成二〇年には、さいたま市ナーサリールームの認定を受けました。そして、利用者が五〇名を超えた頃、平成二一年八月、つばさ

保育園が浦和美園駅前へ移転、その跡地に平成二四年四月、きらり保育園、続いて平成二六年四月、吉川市にきらり美南保育園が開設されました。

## 「絆」「共育」「個性」

「絆」「共育」「個性」を保育理念に様々な取り組みをされてきました。

専任講師による英会話や英語遊びを週に一回実施、月に一回、選択理論を取り入れ子ども達の自由な創造性を育てています。ほかに、リトミックや楽器指導、園長先生自らが先頭となり年長児は和太鼓に取り組んでいます。三園合同の宿泊保育では、大洗方面へ出掛け水族館見学等を満喫します。その後、保育園へ帰り宿泊。夜のお楽しみでお化けになった園長先生、あまりにもリアルすぎて子どもが怖がり響きをかっってしまったこともあったと伺いました。

四〜五歳児クラスになると、山登り体験があります。目指す

は筑波山や太平山です。自分の足でしっかりと一歩一歩登り、体力の限りを尽くし頂上に身を置いたとき、深い達成感を味わえる体験です。

## 見守る保育

開園から四年目を迎え、子ども達の幸せな人生を願う笠原園長先生は、見守る保育を取り入れることにしました。職員が交替で研修に出かけ、今までの保







育を振り返り、少しずつ見守る保育を実践されています。お手伝い活動もその一つです。靴箱掃除、下のクラスの子のお昼寝トントン、給食のメニューを書く係や時間を知らせる係等、子ども達が自主的に活動しています。自分で選び、自分で決めて行動をしているため、途中で投げ出すことはないそうです。

三〜五歳児は、縦割りのグループを軸に、年齢別の活動も進めています。

見守る保育を実践していくと、今まで気付かなかった子どもの心の動きや環境設定等に保育者自らが気付き、少しずつ保育に

変化が：

きらり保育園で、独自に取り組んできた保育と見守り保育が融合、素敵な変化を遂げ、きらり保育園ならではの保育が創成されていくことを感じました。

**地域に活かされ、地域に根差す**

天気の良い日は、園外へ出かけ、生き物や植物にたくさん触れ、季節の移り変わりを肌で感じています。また、散歩の途中、庭先から声を掛けられ季節の花や収穫時を迎えた野菜や果物をいただくこともあります。また、園の広場の一角にある畑は、近所の方が畝の作り方や肥料の種類までアドバイスを下さるとのこと。園行事等にも色々な協力をいただくそうです。

さいたま市に合併する以前から岩槻市釣上地区に生活の拠点を置き、常に地域の方々の声に耳を傾けて、地域の活動に積極的に参加、祭等の協力も惜しまないと伺いました。このように地域を大切にされていらっしゃるからこそ、地域の方々も保育園の子ども達を大切に思ってくださいます。



**「きらり」に込められた思い**

保育・教育の役割は子ども達がより幸福な人生を送るための基盤作りの時期とおっしゃる笠原園長先生。

大人になった時の生き抜く力となる、基本的な生活習慣、遊びをとおした身体づくり、好奇心や挑戦する気持ち、友達と関わりながら自分も他人も受け入れる優しさや勇気を育むことにご尽力されています。

「きらり」の名前は、園長先生の恩師の金言「何かで一番星に」という励ましの言葉から名付けられたのだそうです。人は

それぞれに性格や能力、環境も違う、その違いを認め合い団結することで生まれる力を大切にしていきたいという強い思いが込められています。

きらり保育園は、たくさんの方々の優しい眼差しの下、乳幼児期を安心して過ごすことができる環境を整えていらっしゃいました。

さて、駐車場の一角に遊具が置かれ、数本の庭木が植えられています。園長先生は、そちらに目をやりながら嬉しそうに「ツリーハウスを作るのが夢です。」とおっしゃっていました。

これから、たくさんの方々と光る一番星が卒園児と同じ数、きらり保育園を照らしていくことでしよう。

お忙しい中、丁寧な対応をしていただきましたことに感謝申し上げますとともに、園長先生をはじめスタッフの皆様の活躍ときらり保育園のますますのご発展をお祈り申し上げます。

# 平成28年度 保育者養成校と保育園との情報交換会

9月14日(水) 13:30~16:00

さいたま市文化センター



三団体共催(埼玉県保育協議会・さいたま市私立保育園協会・埼玉県私立保育園連盟)による情報交換会は、埼玉県内だけでなく近隣都県の学校も含めた20校25名、保育園関係者65名、更に行政関係の方々にも多数参加していただき、活発な意見交換が行われた。テーマは養成校の現状から就活や実習についてまで様々な意見が出されるなど両者にとって有意義な意見交換ができた。当日の意見は以下のような内容であった。

**(養成校の現況)**

- ・学生数の10倍近くの求人票が来ている学校もあり、空前の売り手市場。
- ・学生には見学に行くよう指導。実習園以外でもボランティア体験をさせるなど現場をみることを重視

している。

- ・幼稚園傾向か保育園傾向は年により偏る。身だしなみやマナーの他、社会人基礎力を養うキャリア教育に力を入れている。

### (学生の傾向)

- ・10月~11月が就活のピーク。公立の結果後12月から私立の活動をすすめる学生も。私立のみの場合は実習が終わる9月末から。
- ・卒業生の働いている園を希望する学生が多い。

- ・男子学生は親からの反対も。求人票を親に見せて相談する学生が増加。
- ・ニュースなどから公立人気。処遇改善のニュースに学生も敏感。
- ・小規模保育園を希望する学生が増えている。アットホーム感や少人数が楽という印象からか。

- ・雰囲気重視。SNS等学生同士で情報交換し、人間関係の良い所を望む傾向。

### (求人及び採用試験に関して)

#### 〜養成校側〜

- ・企業研究的な園研究をするよう指導。賞与月数や住宅手当の金額は記載が必要。

- ・保育園が欲しい人物像を明確に。求人票に見学可の記述を。

- ・給与面だけでなく、長く勤められる園を選ぶよう指導している。
- ・ピアノの苦手な学生が多く、ピアノ



ノ試験を敬遠する傾向。  
(実習先への就職について)

- ・実習先への就職が多い。実習園を選ぶポイントは実習時の居心地の良さ。

- ・園が実習生に就職の声掛けをするポイントは「素直さ」「園の雰囲気にあう」「のびしろがある」「前向きに取り組んでいる」など。

その他にも実習についての要望や就職してからのフォローの仕方、離職理由などについても熱心な意見交換が行われた。

※なお上記内容は抜粋したものであり、三団体で構成された実行委員からの報告集も参考にしてください。また、来年以降の開催に向けご意見ご要望等ありましたらお寄せください。



## ☆☆ 編集後記 ☆☆

地元の運動会に行ってきました。元々が少人数地区、小学校と地域の各種団体が協働した地域を挙げての大運動会です。とは言うものの小学生は70名弱、長寿クラブの席の方が賑わっているという感じでした。第69回を迎えたこの運動会、この地域ならではの光景が老若男女問わず全員が口ずさむ校歌斉唱です。地元で生まれ育ち、年を重ねてきた先達たちがたくさんいるのです。違うことなく私も大きな声で歌いました。

また各年代別全員参加リレーもあり、子どもたちを見守る大人がたくさんいることになんだか「ホッ」とし、地域の絆を断たぬためにも、この運動会がずっと続いていくことを祈らずにいられませんでした。

(T・M)

近頃急速に冷え込み始めました。10月初頭の運動会ではあれほど元気に走っていた子どもたちですが、このところ幾人も体調不良で休んだり早退したりしています。かく言う自分も9月末の健康診断に不安しきり。この広報が発行されている頃には結果が出ているでしょうが、今年の血糖値やガンマGTPは下がっていると良いなあ…

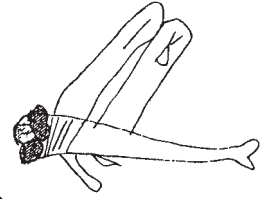
(M・K)

往年の大橋巨泉がやっていたクイズダービーからの出題です。おばあちゃんが新聞のスポーツ記事を見ながら「日本人がみんな負けちゃう〇〇〇っていう外人さん強いね〜」。さて〇〇〇とは？ 正解はそう、プレッシャーです!! サッカーW杯最終予選も大詰め、プレッシャーなんかに負けずにぜひ出場を勝ち取って欲しいものです。がんばれ! 蹴鞠(けまり)文化の国!!

(S・K)

事務局 (一社)埼玉県私立保育園連盟  
〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F  
TEL 048(772)8623  
FAX 048(772)8635





## 保育園および園児を さまざまなリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。  
 (一社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、  
 保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する  
 各種保険を取り扱っております。

### 全私保連 保険制度

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害  
 保険」「特別保育事業賠償責任保険」など、  
 保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップ  
 しています。また、それらを総合的に補償する  
 セットプランもご用意しております。

### 園児総合保障 共済制度

保育園児を24時間補償する共済制度です。  
 保護者にとっては  
 一般に比べてお得な掛金で  
 高額の補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」や「園舎の火災保険」などの、  
 保険を取り扱っております。  
 ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(一社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

## 有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
 TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

